

解答

一

問一 虫が好きな陸は、キイロ TENTU が田町の帽子のつばについていたことに気づいて、見なかったふりをし
てとおりすぎようと決めたことを忘れてしまったから。

問二 昆虫がたくさんいる丘に田町を連れてきて、昆虫のよさを語ることができたことが、とてもうれしく、ほ
こらしい気持ち。

問三 昆虫に対する田町の様子が、昆虫仲間になれそうで期待できるということ。

問四 (1) 学校にこない田町が、自分の話を聞いて愉快そうに笑っているのを見たから。

(2) 愉快そうに自由な感じで笑っている田町を見て、なにかいやなことがあって学校に來られなくなった
のではないかと考えたから。

問五 標本にすると黄色い模様が消えて白くなるキボシカミキリのように、自分のひとことをきっかけに会話が
消え、笑顔がなくなってしまったから。

問六 愉快そうに笑う田町に学校にこない理由を聞いたせいで、おどおどした無口な女の子にもどったことを後
悔したが、いっしょに楽しくすごしていたのに、聞きたいことを聞かずに別れるほうが不自然に思えたか
ら。

問七 自分が学校に行けないもどかしさと、そのことを陸にうまく説明できず理解が得られないことがもどかし
いということ。

問八 気持ちがあまく伝わらずに、田町が陸との間に心の距離を感じているということ。

問九 昆虫の世界では小さいことが有利かもしれないが、のろくて小さな中学生の自分は、背が高い女子ばかり
のクラスの中では居場所がないという気持ち。

問十 視界をひらりとかすめた蝶がコジャノメではないかと期待し、興奮している。

問十一 自分の気持ちを打ちあげてくれた田町をほげます言葉をかけたかったのに、蝶のとりこになってしまい、
その間に田町がいなくなってしまったこと。

問十二

(1) 二人をつなぐ希望を感じさせる色。
(2) 田町の姿が消えたとき、陸も心がからっぽになったから。

二

- | | | | | | | | |
|-------|----------|--------|---------|------|------|------|--------|
| ① 河川 | ② 首脳 | ③ 批評 | ④ 基幹 | ⑤ 操縦 | ⑥ 謝恩 | ⑦ 陸橋 | ⑧ 精算 |
| ⑨ 照葉 | ⑩ 祝辞 | ⑪ 誠実 | ⑫ 質素 | ⑬ 鉱物 | ⑭ 思案 | ⑮ 経路 | ⑯ らくよう |
| ⑰ ひたい | ⑱ たば「ねる」 | ⑲ いんどろ | ⑳ しゅうもく | | | | |

解説

一

問五

直前に「あのひとことをきっかけに、ふたりのあいだからは会話が消えた。」とあることから、「なんで学
校にこないの？」というひとことのせいで、愉快そうに笑っていた田町が、おどおどした目になり、無口
な女の子になったことがわかります。また少し前の部分で、陸は、標本にしたキボシカミキリは、死んで
黄色い模様が消えているため本来の姿ではないことを話しています。これらのことから、自分のひとこと
で、自由で愉快にしていた田町から笑顔が消えた変化を、死ぬと黄色い模様が消える標本のキボシカミキ
リのように感じたという内容を説明します。

問十一

傍線⑪の前後に「消えていたのは蝶だけではない。」「田町の姿が消えていた。」という記述があり、とり
かえしのつかないヘマの内容がわかります。陸はせっかく気持ちを打ちあげてくれた田町をほげます言葉
を探していたが、視界をかすめた蝶に気をとられてしまい、その間に田町がいなくなってしまったとい
うことを説明します。